

# 福智町 議会の窓

# 議会だより

FUKUCHI TOWN COUNCIL NEWS

2020.3  
VOL. 48



主な  
内容

議決結果	2-3
常任委員会報告	4~6
一般質問(6議員)	7~13
参加報告・表紙紹介・編集後記	14

表紙 興国寺文化財  
(場所:福智町上野)















参加  
報告

# 「令和初の成人式」

令和2年1月12日

令和2年1月12日(日)14時から、福智町地域交流センターにおいて令和になって初めての「福智町成人式」が開催されました。成人の皆さんはもちろん、保護者や恩師の先生方、黒土町長をはじめとする関係者、そして福智町議会の矢野議長や議員が出席する和やかな雰囲気の中、式典は進行了しました。式典は町長・議長の祝辞で始まり、祝辞では「福智町はもとより日本を引っ張っていくような大人になってください」と激励がありました。一方、成人の代表者からは「今後の長い人生、様々な事が起きると思いますが、何があっても前を向いて、責任ある行動が出来る大人になります」と決意が述べられました。式典終了後は、思い出のスライドショーが流れ、恩師の先生との交流会が行われ、楽しい成人式になったのではないかと思います。



「千手観音像(興国寺)」

## 表紙の紹介

### 県指定文化財 木造元晦禅師坐像(興国寺)

福智山のふもとにある興国寺。室町幕府初代将軍足利尊氏と弟の直義が国家安泰の祈願と戦死者供養のため、全国66カ国に安国寺を設置し、その安国寺にいち早く指定されました。その興国寺の開山堂に安置されている「木造元晦禅師坐像」。興国寺開山と仰がれる無隠元晦禅師は、鎌倉時代の末期に元の国に渡り、帰国後、京都南禅寺の住持などを務め、のちに現在の福智町上野の地で興国寺を開きました。興国寺には他にも、無隠元晦禅師が京都から招いたといわれる「千手観音像」、足利尊氏や足利直義兄弟の寄進状などを収めた「紙本墨書興国寺文書」も保管されています。



梅が綻び、我が家の庭にもようやく春の兆しを感じられる今日この頃。昨年中は全国的に災害が多発し、日本各地に多くの傷跡を残しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げると共に、被災されました方々の一刻も早い復興を祈念申し上げます。

さて、平成18年3月6日に人口二万六千人あまりの福智町が新しい町として誕生しました。旧町の文化・伝統を継承しつつ、「元氣のある」「明るい」「素晴らしい」町となるよう今日まで励んでまいりましたが、今後はさらに、町民の皆様が自然と共生する心を育み、福智町が心豊かで差別のない町になるよう精一杯取り組んでいきます。

福智町も今年で15年目を迎え、町内の各学校でも3月には卒業式が行われます。進学・就職と進路は様々ですが、どの若者も大きな希望を胸に抱いて前進していくことでしょう。今後も町民の皆様と一緒に、大好きなこの町に住んでよかったと感じてもらえるよう「安心して暮らせる町」「活力みなぎる町」を目指して邁進してまいります。

木戸 勝正